

町食育標語コンクール

116点の力作が寄せられる



朝ご飯 必ず食べる わが家のやくそく

豊間根小学校6年 浦島 皓平

朝食で 大地の恵みを 吸収だ

豊間根中学校1年 佐々木 順一



最優秀賞 (2点)

9月16日、食育標語コンクールの表彰式が行われ、食に関する意識や理解を深め

てもらおうと山田町学校保健会(近藤勝雄会長)が主催したもので、今回は「朝ごはん」をテーマに標語を募集。町内の小・中学校、高校の児童生徒から校内

での1次審査を通過した116点の力作が寄せられました。ここでは、最優秀賞と優秀賞を受賞した皆さんと、その作品をご紹介します。

優秀賞 (8点)

あさごはん	おいしいおいしい	おかわりちょうだい	豊間根小学校1年 佐々木 泉美
行ってきます	元気のもと	あさごはん	織笠小学校2年 山田 菜 弥
いただきます	ホカホカごはん	あいじょうたつぷり	船越小学校3年 芳賀 優 香
朝ごはん	しっかり食べる	かしこい子	豊間根小学校4年 濱長 亮 太
エネルギー	今日も満タン	朝ごはん	船越小学校5年 織笠 萌
スタートは	母の愛情	朝ごはん	山田中学校2年 藤原 愛
一日の	決め手はやっぱり	朝ごはん	豊間根中学校3年 佐藤 美 希
朝ごはん	母の愛情	かしく味	山田高校2年 越田 沙 央 李



町保健福祉課児童専門員
上野 美智子

一人で悩まず、
まずは相談を

「わが子がかわいくて、大好きで子育てしている自分と、反面ではいけないと思っても、言葉の暴力で傷つけたり、虐待している自分がある」。ある日、子育て中のお母さんから相談を受けました。そのお母さんは身近に相談相手がない環境で、一人で悩んでいたようです。相談に応じて悩み事をすべて聞き、「大丈夫ですよ、一緒に考えましょう」と話すと、相談してよかったと笑顔を取り戻しました。

昨今、全国的に児童虐待の相談件数が増加しています。虐待は身近なところでも起きており、地域の問題として考えていかなければなりません。さまざまな事情を抱えている家庭や親子には、優しいまなざしと温かい支援が必要です。

児童虐待は、家庭環境の違いなどから、自分だけでは解決が難しいケースが多くあります。町では子育て支援事業を開設し、育児の情報提供やアドバイスなど、あらゆる面から子育てへの対応を行っています。一人で悩まず、いつでも相談にお越しください。一緒に考えていきましょう。

子供たちの元気な笑い声が地域のあちこちに響く山田町であるため、皆さんのご協力をお願いします。

相談窓口ご利用ください

へご連絡ください。

- 町では、子育て相談窓口を随時開設しています。育児に不安や悩みがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。
- ▽相談内容 18歳未満の子供に関する養育、障がい、非行などの問題全般
- ▽相談方法 電話または面接相談(匿名での相談もでき、内容の秘密は固く守られます)
- ▽受付時間 午前8時半～午後5時半(休祝日を除く)
- ◆相談先 町保健福祉課児童福祉担当(直通82-3113)

児童虐待に関する講演会を開催

- ◇日時 11月30日(月) 午後1時半～3時半
- ◇場所 町中央公民館小ホール
- ◇演題 「虐待の現状を通して～虐待の早期発見と予防支援について」
- ◇講師 三上邦彦さん(岩手県立大学准教授)
- ◇申込期限 11月20日
- ◆申込先・問い合わせ 町保健福祉課児童福祉担当(直通82-3113) へどうぞ。